

ハケ岳（赤岳）単独行

塩D

8月3〜4日で赤岳に行ってきました。当初の予定ではバリエーションの訓練山行のコースで、真教寺尾根から県界尾根を登るつもりだったが、2・3日前の雨で小海線が不通だと云うので美濃戸口から登る事にした。（もともと当日は復旧して行けない事はなかったが、前日に装備をテント泊にしていたので面倒くさくなった）

久しぶりの単独行、マイテントも昨年の小川山以来か？行者小屋にテントもつりだしたので、朝はゆっくり普通電車で揺られて茅野まで。バスに乗り換えて美濃戸口、この風景は何年振りだろうか？月曜日なのに結構な登山者で賑わっている。早速靴ひも

を結び直して出発。気持ちの良い青空を仰ぎながら歩を進める。赤岳山荘まで普通の道なので歩きやすい、4・50分で着いてしまった。小休止して本格的な行者小屋までの登山道に入り、石が積み重なった歩きにくい南沢の道を進む。



ハケ岳特有の苔むした景観を楽しみながら、ゆっくり歩く。やがて美濃戸中山を左に

見て傾斜の落ちた山道を進むと、横岳の険しい稜線が現れ、ほどなく行者小屋に到着です。すでに色とりどりのテントが張られて賑やかなテントサイト、出来るだけ平らな所を選んでエスパースの1・2人用のテントを設営して、夕食の準備に取り掛かる。

何分気楽な1人旅、大同心、小同心が夕日に映えている。

カンビールのタグをプッシュとあけ、自宅から持ってきたお摘みを肴に一人宴会の始まり、冷えたアワ茶が五臓六腑に浸み渡る。明日が早いので8時に就寝、zzzzzzz...

珍しく良く寝られた朝、4時10分出発、地蔵尾根からヘッデンつけて登り始め、流石に殆ど人はいない。月明かりでランプはいらない位だ。階段の続く急登を急いだけれど、日出の時間を読み違え、

稜線に出た時には陽が上がっていた。うゝ残念。

それでも天気恵まれ、赤岳まで急登を楽しみながら行く、初めての赤岳の頂上は360度のパノラマ、山頂からの景色を楽しみながら、記念写真をパチリ。後から続々と登山者が上がってきて、頂上は満員御礼状態、急いで下山開始。



文三郎尾根を一気に下る。テントを乾かして撤収、もと来た道を快適に下り、美濃戸口でひと風呂浴びて、茅野までのバスに乗り込んだ。久しぶりの単独行をたっぷり楽しんだ2日間だった。